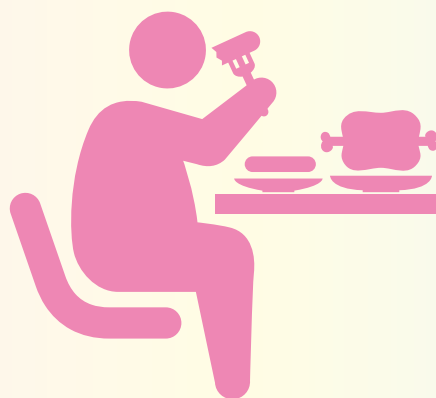


あなたの肥満体質を遺伝子にてチェック

肥満体質遺伝子検査

検査の依頼について



検査の流れ

※ 検体の採取は溪仁会円山クリニックで行います。

<p>検査の申込み</p>	<p>検査をご希望される方は、 まずは溪仁会円山クリニックにご連絡ください。</p> <p>医療法人 溪仁会 溪仁会円山クリニック TEL：011-641-1600 (9:00-17:00 火～金にて受付)</p>
<p>検体採取日予約</p>	<p>検体採取日程を溪仁会円山クリニックと調整し決めます。</p>
<p>検体採取</p>	<p>検体採取日に溪仁会円山クリニックを訪問し検体を採取いたします。 当日は手ぶらでお越しください。 採取は担当の管理栄養士の監督のもと実施いたします。 通常健康診断等のオプションとしてもご利用いただけます。</p> <p>①口の中をすすぐために水で2～3回うがいをして、20分以上経過してから採取してください。</p> <p>②専用の綿棒で左右のほほの内側を、それぞれ10回程度こすってください。綿棒は付属の試験管に入れてください。</p>  <p>検査料金 ¥6,500 / 検体 (税別)</p>
<p>検査</p>	<p>採取された検体の遺伝子を検査</p>
<p>検査結果の連絡</p>	<p>検査結果は2週間程度で溪仁会円山クリニックより郵送でお手元に届きます。</p> 

(検査結果例)

SeqNova™
体質遺伝子検査

肥満体質遺伝子検査結果 (遺伝子タイプ)
 《監修：大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学 特任准教授 勝谷友宏》

〇〇 〇〇
 様は、 **高カロリー嗜好／洋ナシ&バナナ型** です。

食嗜好への影響が大きい遺伝子についての判定結果

<p style="text-align: center;">高カロリー嗜好 (リスク遺伝子：FTO)</p> <p>高カロリーの食品を好み、食後も食欲を感じやすいタイプです。また、脂肪を貯蔵する白色脂肪細胞が多くなりやすい体質だとも言われています。</p>	<p style="text-align: center;">(リスク遺伝子なし)</p> <p>調査した肥満体質遺伝子 (FTO) は、リスク型ではありませんでした。</p>
--	--

体型への影響が大きい遺伝子についての判定結果

<p style="text-align: center;">洋ナシ型 (リスク遺伝子：UCP1)</p> <p>脂質の代謝が苦手なタイプです。その為に、皮下脂肪が付きやすく、下半身が太りやすい体質だと言われています。</p>	<p style="text-align: center;">リンゴ型 (リスク遺伝子：ADRB3)</p> <p>糖質の代謝が苦手なタイプです。その為に、内臓脂肪が付きやすく、お腹が出やすい体質だと言われています。</p>	<p style="text-align: center;">バナナ型 (リスク遺伝子：ADRB2)</p> <p>筋肉が付きにくいタイプです。ほっそりした体型になりやすいですが、一度太ると痩せにくい体質だと言われています。</p>
<p style="text-align: center;">ミックス型 (リスク遺伝子 3つ)</p> <p>脂質と糖質の代謝が苦手な上に、筋肉が付きにくいタイプです。皮下脂肪も内臓脂肪もつきやすく、一度太ると痩せにくい体質だと言われています。</p>	<p style="text-align: center;">アダム・イヴ型 (リスク遺伝子なし)</p> <p>調査した肥満体質遺伝子 (UCP1, ADRB3, ADRB2) は全て、リスク型ではありませんでした。食生活などの生活習慣が大きく関わるタイプです。</p>	

遺伝子名	遺伝子型	低 ← 肥満リスク → 高
FTO	+ (変異1つ)	<div style="width: 40%; height: 10px; background-color: #ffc107;"></div>
UCP1	++ (変異2つ)	<div style="width: 70%; height: 10px; background-color: #ffc107;"></div>
ADRB3	- (変異なし)	<div style="width: 5%; height: 10px; background-color: #ffc107;"></div>
ADRB2	+ (変異1つ)	<div style="width: 40%; height: 10px; background-color: #ffc107;"></div>

※本検査では、数ある肥満遺伝子のうち、日本人で代表的な4遺伝子のみを調べております。また、一般的に体質は遺伝要因だけでなく、生活習慣などの環境要因も共に関わります。

(検査する遺伝子について)

遺伝子名	遺伝子の機能
FTO	食欲を高めるグレリンというホルモンの分泌を調整している遺伝子です。(リスク型だと食後も食欲を感じやすくなります) また、脂肪を貯蔵する白色脂肪細胞が増えるのを抑える働きもあります。
UCP1	脂肪を燃焼する褐色脂肪細胞で ADRB3 と共に熱産生に働く遺伝子です。細胞中に貯蔵された脂肪がミトコンドリアで燃焼されるのを活性化します。(リスク型だと脂肪がうまく消費されません)
ADRB3	脂肪を燃焼する褐色脂肪細胞で UCP1 と共に熱産生に働く遺伝子です。また、血中の糖分濃度を下げるインスリンの機能を調節しています。(リスク型だと糖質がうまく消費されません)
ADRB2	呼吸・循環器系などの平滑筋におけるエネルギー消費や、脂肪細胞における脂肪燃焼に働く遺伝子です。(リスク型だと脂質とともにタンパク質もよく消費されてしまいます)

医療機関

医療法人 溪仁会 溪仁会円山クリニック

TEL：011-641-1600

(9:00-17:00 火～金にて受付)

〒064-0820 札幌市中央区大通西 26 丁目 3 番 16 号

FAX:011-641-1605

URL:<http://www.keijinkai.com/maruyama/>




<地下鉄でお越しの場合>

地下鉄東西線『円山公園駅』2番出口下車。

バスターミナル4番又は5番乗降口から出て左折して横断歩道を渡って徒歩1分。

検査機関

 北海道システム・サイエンス株式会社

フリーダイヤル：0120-613-190

(9:00-17:00 土日祝を除く)

〒001-0932 札幌市北区新川西 2 条 1 丁目 2-1

TEL:011-768-5903 FAX:011-768-5951

E-mail:kensa@hssnet.co.jp

URL:<http://www.hssnet.co.jp>

※ このサービスの仕様は、予告なく変更する場合がございます。

このサービスは遺伝子解析を通じて疾患発症リスクや体質の特徴を予測するものであり、病気の診断を行うものではありません。